



# 寄診療所のご案内

寄診療所 ☎(89)2119

町民課 国保年金係 ☎(83)1225

平日は毎日診療しています。寄地区以外の方も受診できます。  
健康診断、予防接種、発熱患者さまの受け入れも行っていきます。(小児以外)



寄診療所  
診療当番表

診療時間	月曜	火曜	水曜～金曜
午前9:00～正午 受付▶午前11:30まで	第1～3週 藤本医師	藤本医師	藤本医師
	第4～5週 相川医師	最終週 石毛医師	
午後2:00～5:00 受付▶午後4:30まで	第1～3週 藤本医師	足柄上病院外科医師 (輪番)	藤本医師
	第4～5週 相川医師		

## 松田町遺族会より

松田町社会福祉協議会 ☎(82)0294

令和6年8月15日で79回目の終戦の日を迎えました。全国各地に設置されている「遺族会」は、戦没者の追悼と平和の大切さを知ってもらうために活動を行う団体です。

今回は、「松田町遺族会」の矢口武さん(会長)と、竹内和則さん(副会長・会計)にお話しを伺いました。矢口会長は小学生の頃に戦争を経験し、家に防空壕をつくりそこで過ごしていたと仰っていました。

「松田町遺族会」は昭和26年に設置され、当初は100人を越えていた会員も現在は高齢化により43人まで減少している状況です。その中でも、役員の方々を中心に、毎年靖国神社へ参拝に行ったり、お盆の時期には会員の家にお線香を配ったり、新年会を開いたりと年間をとおして活動し、会を守り続けてくれています。

来年で終戦80年を迎えます。これから戦争を知る人がさらに減っていく中で、『戦没者を供養するために』と活動を続けている松田町遺族会は、今後も戦没者の遺族、その子や孫と『ずっとずっとつながってほしい』とお二人は仰っていました。



## 松だるま

松田町長 本山博幸

ついに来たか!?

本年9月1日は、関東大震災から101年が経過します。今後も引き続き「自らの命は自らが守る」ことを意識され、自然災害などに十分に備えていただくよう「お一人最低3日分(備蓄品など)」のご準備をお願いいたします。

さて8月8日、宮崎県沖を震源地とする南海トラフ対象エリア内での地震が発生。9日、松田町にも震度5弱の地震が発生し「ついに来たか!?!」とすぐに役場へ向かいま対策本部を立ち上げ、直ちに道路や水道の状況などの確認、町内のパトロール、さらには電車利用の帰宅困難者へ給水などの対応を行いました。午後10時ごろには断水が解消、幸いにも土砂崩れや道路のひび割れなど大きな被害も無く、午後11時ごろには一部の職員を帰宅させ、30人ほどの職員にて夜間のパトロールを実施しました。10日午前6時には町消防団にパトロールのご協力をいただき、改めて大きな被害が無いことが確認でき、10日午前8時30分には一部の職員を残し、一旦撤収した次第です。その後、台風7号が接近する中、14日と15日に同様な震源地での地震が発生し「またか!?!」と思いましたが、今回の地震対応や新型コロナウイルス対策のときも同様ですが、常に町職員は町民の皆さまの「生命と財産を守る」意識を強く持つて対応してくれているので「頼りになる公助の体制」に育ってくれていると感じています。今後も常に危機感を強く持ち、職員一同、精進してまいります。

結びに「暑さ寒さも彼岸まで」との言葉があるとおおり、この暑さが和らぐことを期待しつつ、健康には十分にご留意されますことをご祈念申し上げます。